

<ニュースリリース>

“ニッポンの野菜不足をゼロにする”を目指し、子どもの野菜嫌い克服にチャレンジ

カゴメと放課後 NPO アフタースクールの共同食育プログラム



『おいしい！野菜チャレンジ 2021』全国 80 箇所で開催

カゴメ株式会社（代表取締役社長：山口 聡、本社：愛知県名古屋市）と放課後NPOアフタースクール（代表理事：平岩国泰、所在地：東京都文京区）は、子どもの給食の残食率を減らし、バランスよく栄養を摂取し、将来に向けての体づくりの大事な小学生の時期に野菜嫌い克服を目指す連携子育てプロジェクト『おいしい！野菜チャレンジ2021』を、全国80箇所で開催いたします。

■「おいしい！野菜チャレンジ」について

「おいしい！野菜チャレンジ」は、カゴメと放課後NPOアフタースクールが共同で、保護者・学校の共通の「困りごと」であり、野菜不足要因の1つである「食経験による野菜嫌い」の克服を目指して開発した食育プログラムです。2018年4月にスタートし、これまでに約5,000名の小学生がプログラムに参加し、2019年には「キッズデザイン賞」を受賞しました。2020年度は、従来の訪問対面型での実施は中止し、**双方向オンライン型のプログラムを全国60箇所**で実施いたしました。多くの小学生に「野菜って楽しい、面白い、食べたい」などの感想をいただき、**90%以上の満足度、保護者の方からも多くの反響**をいただいております。（後述資料参照）

※「おいしい！野菜チャレンジ」プログラム <http://www.npoafterschool.org/yasai-challenge>

■ 2021年「おいしい！野菜チャレンジ」プログラム実施概要

<プログラム内容>

野菜をおいしいと思う食体験や野菜を知ることが楽しいと思える体験を通して、野菜好きのきっかけをつくる「さわる」「みる」「かぐ」「知る」「味わう」を立体的に体験します。

今年は、「訪問対面型」と「双方向オンライン型」の2つのプログラムを実施いたします。参加申し込み時にご希望のプログラムをお選びいただけます。

【訪問対面型】：野菜を使ったオリジナルジュース作り

クイズで野菜の旬や栄養について学び、みんなで野菜を使ったオリジナルのジュースをつくって味わうプログラムです。

（一部状況により変更する場合があります。）

【双方向オンライン型】：野菜を使った謎解きトレジャーハンター

野菜トレジャーハンターとなってクイズや実験に挑戦するオンラインプログラム。ナゾを解いて宝箱を開けるドキドキ感で夢中になって、いつのまにか野菜と仲良くなるプログラムです。



<実施概要及び応募方法> ※やむを得ず変更になることがあります。

- ・実施エリア：全国小学校授業時間 及び 放課後活動学童クラブ等 80 箇所
- ・定員：約 40 名（最大） / 1 回
- ・実施時間：訪問対面型 約 90 分 双方向オンライン型 約 45 分を予定
(双方向オンラインではサポート付き機材一式無償貸し出し)
- ・募集期間：応募受付中 2021 年 5 月 28 日（金）締め切り
- ・応募方法：おいしい！野菜チャレンジ HP より応募可能です。

<http://www.npoafterschool.org/yasai-challenge>

■放課後 NPO アフタースクールについて

安全で豊かな放課後を日本全国で実現するために、学校施設を活用し、地域と共に子どもの育ちや学びを応援する放課後の居場所「アフタースクール」を運営、モデルを展開しています。

さらに、多種多様な企業と連携した教育プログラムを全国各地で実施。子ども達の放課後に社会の力を集めて新時代を切り拓く力を培うことに挑戦する NPO 法人です。

アフタースクール開校数：21 校 / 連携企業 300 社以上 / 活動への累計参加人数 100 万人以上

特定非営利法人 放課後 NPO アフタースクール HP <https://npoafterschool.org/>

■参考：カゴメが考える「野菜嫌い対策 3つのポイント」

「子どもたちに、おいしく野菜を楽しんでほしい」。そんな想いからスタートした本プログラムのテーマは「チャレンジ」です。カゴメは、楽しく野菜を食べることに挑戦し、達成感を感じることが、子どもたちの野菜好きを育てると考えています。プログラム提供と合わせて、無理なくできる工夫のヒントをお届けし、ご家庭での「チャレンジ」も応援します。

ポイント① 野菜嫌いな子どもには、「無理なく」「少しずつ」

ポイント② うれしい気持ちや喜びから、食べ物が好きになることも

ポイント③ 味付けや調理の工夫で、野菜のクセをやわらげる

カゴメ HP「こどもの野菜嫌いどうしてる？」 <https://www.kagome.co.jp/statement/syokuiku/love/yasai-kirai/>

■2020 年度実施分 結果報告

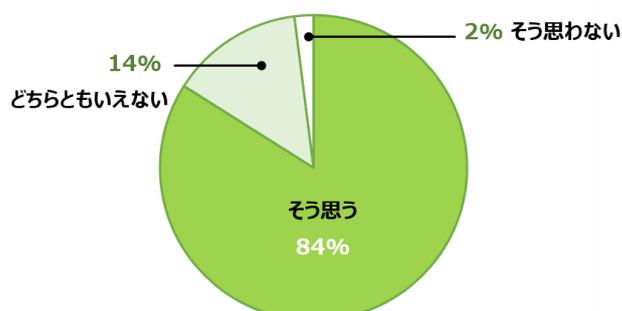
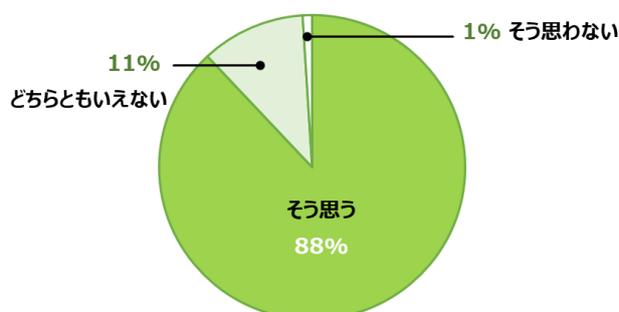
- ・実施時期：2020 年 7 月～2021 年 3 月
- ・実施場所：全国小学校授業時間及び 放課後活動学童クラブ等
- ・実施校：60 箇所
- ・参加児童：約 1,900 名

<プログラム実施後アンケート結果>

●参加した子ども

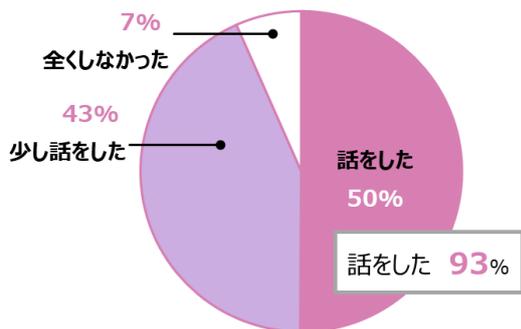
Q.自分やみんなのためにもっと野菜が必要だと思いますか？

Q.野菜を知ることは楽しいと思えましたか？



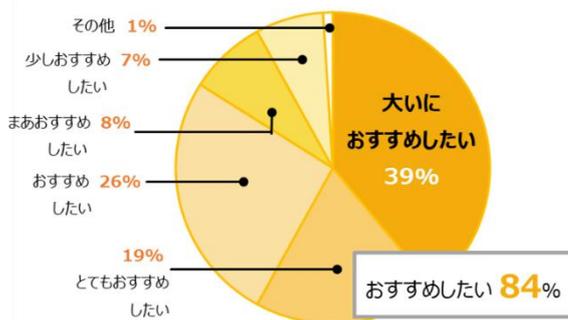
●保護者

Q.おうちでお子さんとプログラムの話をしましたか？



●実施小学校教員・学童クラブスタッフより

Q.今回のプログラムを他の学校や教育機関にすすめたいと思いますか？



●フリーコメント抜粋

- ・いろんな、なぞときや、クイズなどをやったり、たくさんの野菜のことをして楽しかったから。(5年生)
- ・1日に必要な野菜や野菜ジュースの中に入っている野菜をしてもっと野菜が好きになったのがとてもうれしかったです。(2年生)
- ・1日にひとつようなやさいのグラムを知れたし、クイズなどを通じて勉強ができたので楽しかったです。(4年生)
- ・ふだん家では野菜を食べていますがにがての野菜も少しですががんばって食べるようになりました。(保護者 A 様)
- ・生野菜、サラダなど、まったく食べてくれませんでした、少しでも食べようと口をつけるようになりました。(保護者 S 様)
- ・野菜についての興味が広がり、野菜は体調を良くしてくれると言う事をわかってくれました。(保護者 M 様)
- ・家で育った野菜を頑張って食べてくれました。今まで野菜ジュース系は飲んでくれなかったが、今回の授業で飲んでくれるようになりました。(保護者 T 様)
- ・新型コロナウイルス対策と言うことで Zoom を利用しての実施となったが、それはそれで大変貴重な機会となりました。「野菜と仲良く」という観点からすると普段野菜嫌いで給食を食べる時に時間がかかる子どもたちもとても興味をもって参加していました。(小学校栄養教諭)
- ・一つひとつの課題が子どもの興味・関心を自然と引き出していた。双方向のやりとりができて一体感が感じられた。(放課後活動学童主任先生)

調査対象：プログラム実施後アンケート（放課後 NPO アフタースクール調べ）（2020年7月～2021年2月）

集計人数：54団体 参加した子供 1,274人 保護者 968人 団体担当者 124人

<報道機関向けのお問い合わせ先>

カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 北川 太田
TEL：03-5623-8503

特定非営利法人放課後 NPO アフタースクール 長坂 岩名
TEL：03-6721-5043 / 070-1265-7704 MAIL:yasai@npoafterschool.org